

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 敬愛園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
介護福祉士 専門課程	介護福祉科	夜・通信	162 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ (http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	福岡介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 敬愛園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専攻分野の実務に関する知識や技術、技能について企業や業界と連携し組織的な教育を行う。 ・ 委員の意見をカリキュラム編成等に生かしていく。 ・ 当該組織の審議事項 教育課程 学生の進路指導 学校評価

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
公益社団法人 福岡県介護福祉士会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	職能団体理事
通所介護 姪浜デイサービス 施設長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	実習施設
特別養護老人ホーム リハモール福岡 生活支援課係長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	実習施設
本校5回生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 敬愛園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校のディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに準じたシラバスを作成する。 教育課程編成委員会の意見を反映させる。 校務運営委員会を開催し、次年度のカリキュラム編制の方向性を決定する(12月) 領域「介護」「こころとからだのしくみ」の関連し合う介護技術項目については、授業時期が連動し合うよう、時期や授業内容を、担当教員同士で打ち合わせをしながらカリキュラム作成をおこなっている。(1月～2月) 非常勤講師についても、上記内容を説明した上でシラバス作成を依頼している。 シラバスについては、ホームページで公表するとともに、年度始めに製本して学生に配布する。(4月)</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果の評価基準については、ABCD の 4 段階評価を行い、ABC を合格としている。A (80 点以上) B (70 点以上 80 点未満) C (60 点以上 70 点未満) D (60 点未満) ・ 各科目 100 点評価で算出を行い、学内順位を出せるようにしている。 ・ 試験内容は筆記試験・実技試験・レポート試験・面接試験によって行う。 ・ シラバスにも授業科目ごとの評価基準を記載し、学生に明示している。 ・ 成績評価の際には、客観的評価となるよう、教務会議により成績の最終決定を行なっている。 	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則上は ABCD で評価しているが、100 点評価により、平均点や、成績順位を把握できるようにしている。</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を 100 点満点で点数化している。</p> <p>その点数をもとに順位付けを行い、成績分布状況で把握出来るようにしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ (http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定基準を2年以上在学し、規定の授業科目を履修し、卒業試験の審査に合格した者としている。</p> <p>入学生オリエンテーションにおいて卒業認定の基本的な方針である本校のディプロマ・ポリシーを学生に説明している。</p> <p>卒業認定の際には、卒業判定会議を行い、本校のディプロマ・ポリシーや単位の取得状況等を確認ながら行なっている。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ (http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 敬愛園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.keiaien.org/company/
収支計算書又は損益計算書	http://www.keiaien.org/company/
財産目録	http://www.keiaien.org/company/
事業報告書	http://www.keiaien.org/company/
監事による監査報告（書）	http://www.keiaien.org/company/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		介護福祉士 専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1875 単位時間/単位	831 単位 時間/単位	588 単位 時間/単位	456 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1875 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	65人	43人	4人	11人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学校の教育方針である学習成果目標（尊厳と自立を支える・基本的知識技術を身に付ける・介護実践力を身に付ける・連携が図れる）及び教育科目編成と評価の方針（倫理観・個別ケア・実践力を身につけさせる科目編成と評価）をもとに、年間の授業計画及び授業計画作成を行っている。 授業方法は、講義・演習・実習により構成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 前期試験・後期試験を行い、筆記・実技試験により審査する。 A B C D評価を行い、D評価が不合格。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級：当該学年の科目をすべて履修したもの。 卒業：すべての科目を履修し、卒業試験に合格したもの。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>成績不振者には補講を行っている。 欠席者には連絡をとり、安否確認を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	37人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 高齢者福祉施設			
(就職指導内容) 外部講師による就職セミナーの開催。 教員による面接指導。志望施設の見学調整。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士(国家資格)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	3人	4.6%
(中途退学の主な理由) 他分野への進路変更、就職等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員との個別面談の実施。保護者との連絡体制の構築。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	150,000 円	600,000 円	330,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じガバナンス改善に向けた自主的な取り組みを促進していくことを目的とし、社会福祉法人敬愛園福岡介護専門学校の学校関係評価を行う。年2回開催。 ・ 学校長が実施責任者として評価結果をもとに、学校運営・教務運営に活かす。 ・ 第1回学校関係者評価委員会の評価結果は後期の学校・教務運営に活かす。 ・ 第2回学校関係者評価委員会の評価結果は、次年度の学校・教務運営に活かす。 ・ 評価項目 <ul style="list-style-type: none"> 教育理念・目標 学校運営 教育活動 学習成果 学生支援 教育環境 学生の受け入れ募集 財務 法令等の遵守 社会貢献・地域貢献 国際交流 ・ 授業評価については、学生の授業評価を科目ごとに集計し、教育課程編成委員会に提出する。教育課程編成委員会より、教務に関するその他の意見と合わせて、学校関係者評価委員会に提出している。 ・ 学校関係者評価委員の構成 <ul style="list-style-type: none"> (1) 企業団体関係者、企業経営者又はそれに準ずる者 (2) 公認会計士、税理士又は財務の専門家 (3) 卒業生 (4) 介護・福祉業界関係者 (5) その他、理事会が必要と認めた者

<p>評価委員の人数は、5名以上とする。 評価委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。</p>		
<p>学校関係者評価の委員</p>		
所属	任期	種別
株式会社 ケイアイサービス 取締役	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業団体関係者、企業 経営者又はそれに準 ずる者
黒川合同会計事務所 執行役員 税理士	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	税理士
社会福祉法人 敬愛園 本部部長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	財務に関する専門家
法人統括施設長 アットホーム福岡 施設長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	介護・福祉業界関係者 運営に関する専門家
通所介護 姪浜デイサービスセンター 所長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	介護・福祉業界関係者 運営に関する専門家
特別養護老人ホーム リハモール福岡 生活支援課係長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	介護・福祉業界関係者 実務に関する専門家
本校5回生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
ケアスタ福岡 本校21回生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
<p>学校関係者評価結果の公表方法 ホームページ(http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou) (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou</p>		
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p>		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.keiaien.org/fukkai/jyouhou</p>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	福岡介護福祉専門学校
設置者名	社会福祉法人 敬愛園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-人	-人	-人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	0人	
	第Ⅲ区分	-人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。